福田地区防災士会 第７回研修会報告

～　避難所開設研修　～

梅雨入りを控えた６月１２日（日）、福木小学校体育館において「避難所開設研修」を行いました。福田地区の防災士１３人と福田地区自主防災連絡協議会の久保正会長、福田地区連合町内会の安永邦明会長も参加され、総勢１５人で行いました。

１３時半に体育館に集合し、参加者各々の自己紹介のあと、避難所開設の手順の説明があり、まず、机といすをステージ下から出して配置したあと、２カ所の防災備蓄倉庫から防災備蓄用品を運び、受付を設置。そこで小休止を兼ねて意見交換をしました。

その後、体育用マットの準備、簡易エアベッドとエアクッションを膨らませて使用（案外快適のようでした）。その後、２種類の簡易テントを組み立て、居住性などの確認や電話の位置確認をしました。予定の行動を終えた後には、ミーティングを行いました。

代表から、避難所設置の際の連絡（メール）についての説明の後、久保会長からこれまでの避難所の状況説明とともに、避難所詰めにあたっては、まず自分や自分の家族の安全と地域の安全の確保がされた上で、避難所詰めの方に来るようにしてほしいとの話がありました。

なお、参議院選挙が７月１０日となっており、体育館が投票所になるため、その際は９日と１０日の二日間は、集会所を避難所にすること、足りない場合は教室の開放も検討しなくてはならなくなるとの説明がありました。

ここで、他の行事で来られなかった人が片付けの応援に合流。２基の簡易テントの前にみんなで勢ぞろいして記念撮影をしたあと、テキパキと２カ所の備蓄倉庫への片づけを終えました。最後に代表より、今年の梅雨末期に集中豪雨が心配されること、梅雨末期に向け、身の回りや地域の状況を把握しておくことなどが説明され、１５時半頃、無事解散しました。今年の梅雨に向け、今回の避難所開設研修が「素振り」となることを願っています。

なお、福木小学校体育館のトイレに男女それぞれ１台ずつですが、洋式トイレが設置されていました。少しほっとできました。

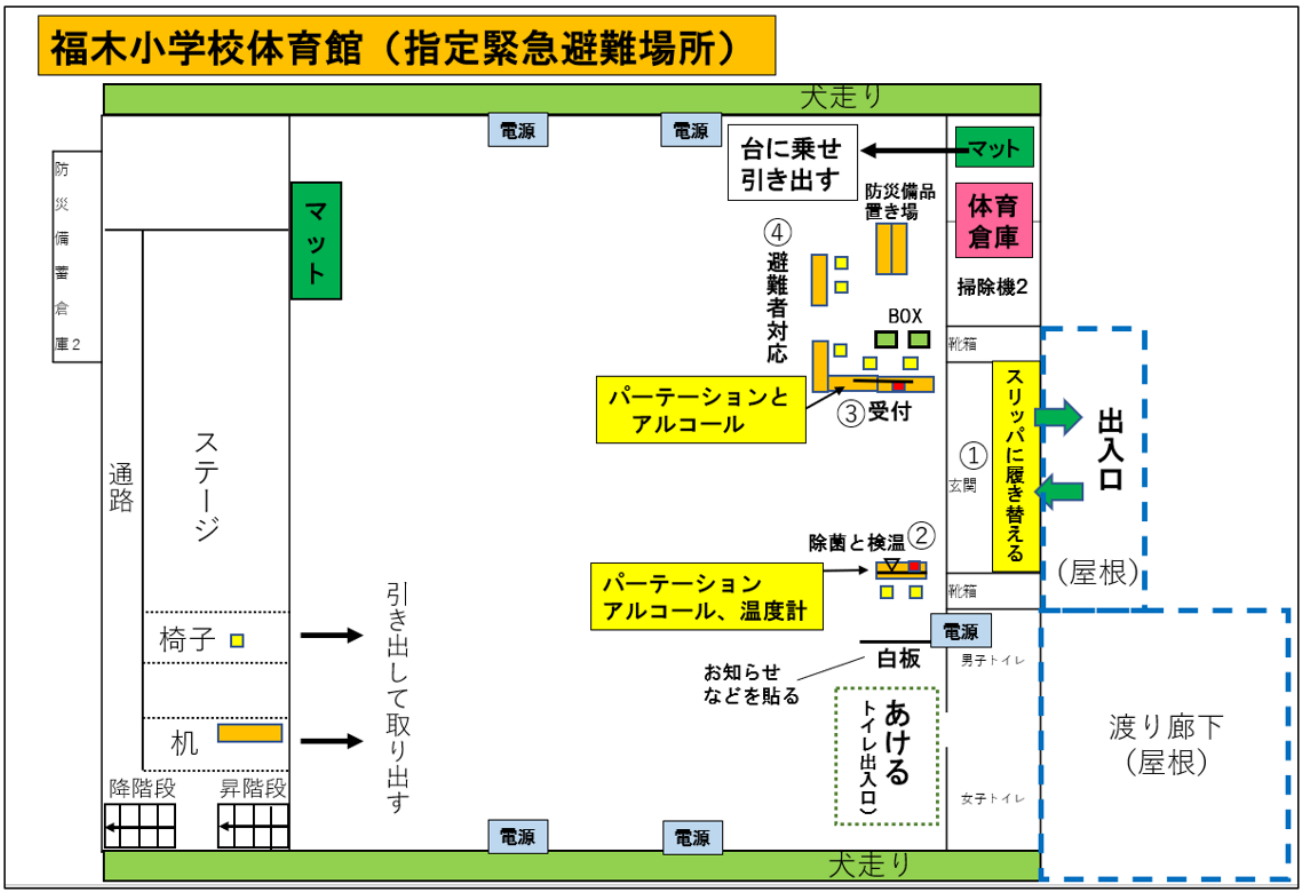
（記責　越智２０２２年６月１２日）

避難所開設を手分けして行う
トイレ出入口の目隠しを
兼ねた掲示用白板
出入口
検温・消毒
避難者受付
受付開設後のミーティング
避難者用のマットを敷く

簡易エアベッド（数分で膨らみ、片付けも電動でOK）
エアクッション
2WAYクッション
エアクッション

簡易テント(5,6人用)の組み立て

簡易テント(小型)の組み立て



避難所に来られるときはスリッパや上靴をご持参ください（避難所にはありません）